

令和4年度第3回岩手県企業局経営評価委員会 議事録

令和5年2月7日（火） 15時30分 から 17時00分 まで  
岩手教育会館カンファレンスルーム200

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議 事
  - (1) 審議事項  
令和4年度（実績見込み）の経営評価について
  - (2) 報告事項
    - ① 次期売電契約について
    - ② 令和5年度経営評価委員会の審議事項について
  - (3) その他
- 4 閉 会

委 員 長	一関工業高等専門学校	明石 尚之
委 員	いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社	阿部 瑛子
〃	岩手県立大学総合政策学部	泉 桂子
〃	早稲田大学水循環システム研究所 株式会社群馬東部水道サービス	濤川 進
〃	盛岡ガス株式会社	松川 顕
企業局	局長	森 達也
〃	次長兼経営総務室長	佐々木 真一
〃	技師長	藤原 清人
〃	管理課長	千葉 順幸
(経営総務室)	予算経理担当課長	菊地 教文
〃	総括課長	山谷 紀彦
(業務課)	事業担当課長	古川 健一
〃	電気課長	高橋 浩
〃	土木・施設担当課長	田家 清子
〃	施設総合管理所長	村上天 敏弘
(施設総合管理所)	県南施設管理所長	室月 敦
〃	県南施設管理所長	室月 敦
事務局	経営総務室 経営企画課長	伊藤 隆行
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	小原 穰
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	松本 潤
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	中村 圭佑
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	桂 誠之
〃	経営総務室 管理担当 特命課長	細川 普基
〃	業務課 電気担当 主任主査	下山 智

(委員 50 音順 敬称略)

---

---

(発言者)

(発言内容)

【 1 開 会 】

佐々木次長 定刻となりましたので、ただいまから、令和4年度第3回岩手県企業局経営評価委員会を開催いたします。

本日、暫時、進行役を務めさせていただきます。次長の佐々木 真一でございます。どうぞよろしく願います。

それでは、お手元の次第により、進行して参りたいと存じます。

開会に当たりまして、企業局長の森よりごあいさつ申し上げます。

【 2 挨 拶 】

森局長 いつもお世話になっております。企業局長の森です。

本日は大変お忙しい中、また、雪解けでお足元の悪い中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

本年度も残すところ2か月弱となりまして、概ね年度末実績の見込みが立ってきたところですので、本日は令和4年度の実績見込みの評価をお願いしたいと思っています。

さて、電気事業につきましては、厳しい国際情勢や為替変動等の影響を受けまして、エネルギー価格が高騰しております。旧一般電気事業者各社とも規制料金の値上げを経済産業省に申請したほか、送電線などの利用料である託送料金についても上限額の引き上げが行われることとなり、県内経済や民生に大きな影響を与えているところです。そのような中で、企業局としては東北電力株式会社と共同で、電気料金を6%割り引く「いわて復興パワー」に取り組んでおりまして、今年度に入ってから利用率が上がってきているところです。併せて水力発電の新規開発に向けても取組を進めておりまして、このような取組を通じて県内経済の発展や環境問題の解決などに努めてまいりたいと考えております。

電気料金の高騰は工業用水道事業に大きな影響を及ぼしていますが、施設の効率化や集約等の取り組みにより、現在の料金水準のまま、安定供給を継続できております。また、新北上浄水場建設事業は、計画通り4月から日量20,000m<sup>3</sup>で一部給水開始する予定です。

本日は、様々な視点からご意見をいただきまして、今後の経営に役立ってまいりますので、どうぞよろしく願います。

佐々木次長 それでは議事に入りたく存じます。

以降の議事進行は、明石委員長にお願いしたいと思います。

---

---

### 【 3 議 事 】

#### (1) 審議事項

令和4年度（実績見込み）の経営評価について

明石委員長 委員長の明石です。よろしくお願いします。

それでは、事務局から配布されているタイムスケジュールに沿って進めますので、議事進行にご協力をお願いします。

まず、本日の内容ですが、初めに「令和4年度実績見込みの経営評価」について審議を行います。

その後、事務局から「次期売電契約」、「令和5年度経営評価委員会の審議事項」の2件について報告があります。

それでは、「令和4年度実績見込みの経営評価」について審議を行います。

説明と質疑応答は、電気事業、工業用水道事業、共通的事項の3つに分けて行います。それでは事務局から「電気事業」について説明をお願いします。

令和4年度「電気事業」の経営評価（実績見込み）について

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和4年度経営評価（実績見込み）の総括

資料2 令和4年度経営評価（実績見込み）総括表

参考資料1 令和4年度取組内容一覧表

明石委員長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

松川委員 4点質問があります。

湯田ダムの水位制限の期間はいつまででしょうか。また、現在も湯田ダムの水位制限が継続しているのならば、影響はどの程度あるのでしょうか。

稲庭高原風力発電所の供給電力量は、再開発事業によってどの程度増加したのでしょうか。

四十四田発電所において国土交通省と共同で実施した洪水後期の放流を有効に活用する取組とは、具体的にどのようなもののでしょうか。

電力土木施設の耐震診断進捗率について、四十四田発電所取水塔の実施を見送ったのは再開発の予定があるからでしょうか。また、電力土木施設の耐震診断進捗率の経営目標達成度は「B」となっていますが、取組内容の成果は「a」となっているのはなぜでしょうか。

高橋電気課長 湯田ダムの制限水位の期間についてですが、令和3年度から工事側からの要望を受けて工程上必要な水位に制限して運用しており、制限水位は期間によって異なります。

通常ですと湯田ダムは有効水位0～21.5mで運用していますが、

令和4年5月までは有効水位1m以下に制限していました。その後、

令和4年11月までは有効水位7m、

令和5年2月までは有効水位1mで制限しています。

現在は、約4m付近で運転しており、

来年度の水位運用計画は未定ですが、工事側からは水位制限の要望は来ているところです。

---

---

続きまして、稲庭高原風力発電所の再開発事業による供給電力量の変化についてですが、再開発事業前の年間供給電力量は約 410 万 kWh、再開発事業後は約 550 万 kWh であり、約 35%増加しております。

四十四田発電所において試行しております洪水後期放流の有効活用についてですが、他のダムでも同様ですが、降雨でダムへの流入量が増え、発電で使用できる水量を超えた流入があった場合、通常は発電せずにダムから放流します。この無駄になってしまっているエネルギーを有効に活用しようということで、洪水の終わりが見えてきたら、ダムに貯水したうえで発電に利用しようというものです。令和 4 年度は 8 月 6 日から 8 月 9 日までの 4 日間試行しまして、約 8 万 kWh の増電となりました。北上川ダム統合管理事務所が主体となって進めているもので、全国的に同様な取組が進められているものと承知しています。今後は、国土交通省が効果を検証し、今後も同様の取組を継続するか決めると聞いております。

田家  
土木・施設  
担当課長

電力土木施設の耐震診断進捗率についてです。今年度は 3 か所の実施を予定しておりましたが、四十四田発電所取水塔につきましては、国土交通省が実施している四十四田ダム再生事業の詳細設計が固まっていなかったため、今年度の実施を見送ったところです。残る 2 か所は実施済みですので、経営目標の達成度は「B」としたものです。

一方で、ご指摘をいただきました今年度の取組内容の成果との差異についてですが、年度当初の段階で、四十四田ダム再生事業の影響により四十四田発電所取水塔については、耐震診断の実施が困難であることが明らかであったため、これを除いた 2 施設の耐震診断を取組内容として設定しており、成果としては「a」としたものです。

濤川委員

供給電力量が経営目標を下回るのは湯田ダムの水位制限によるものとのことでしたが、運転する際の水位が高ければ供給電力量が増えるのでしょうか。

高橋電気課長

水位制限がなければ、降雨などでダムへの流入が増えた際に発電で使用できない水を貯水し、晴天時などの流入が少ない時に計画的に発電で使用するといったことが可能となり供給電力量が増えます。また、水位が高いと出力が増えるといった効果もあります。

明石委員長

そのほか質問等はございませんか。

なければ、「工業用水道事業」について説明をお願いします。

令和4年度「工業用水道事業」の経営評価（実績見込み）について

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和4年度経営評価（実績見込み）の総括

資料2 令和4年度経営評価（実績見込み）総括表

参考資料1 令和4年度取組内容一覧表

明石委員長 　　ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

濤川委員 　　2点質問があります。

電気料金の高騰が及ぼす経営への影響について、電気料金は給水原価のどの程度を占めているのでしょうか。

入札不調や資材納期の長期化で一部修繕工事の実施が困難との説明がありました。このような工事は小規模な工務店などが施工するものと推測しますが、受注が可能な業者が減少したことも一因でしょうか。

古川 　　電気料金が占める給水原価の割合についてです。少し古い数値ではありますが、令和2年度の地方公営企業年鑑によりますと、薬品費を含む動力費は4.98円/m<sup>3</sup>、売上原価は約57円/m<sup>3</sup>ですので、約8.6%を占めています。なお、地方公営企業年鑑に掲載されている売上原価が実際の給水料金よりも高くなっており、地方公営企業年鑑の売上原価の費用には、ろ過水の費用も含まれているためであることを補足します。

一部修繕工事の実施が困難となった背景についてですが、ポンプ等の設備を設置する工事において、機器の納期が長期化していることが主な理由であり、業者の減少によるものではないと認識しています。

阿部委員 　　水質維持に使用する薬品等の価格高騰の影響はあるのでしょうか。

古川 　　薬品等の値上がりのほか天候不順で薬品の投入量が増えたこともあり、補正予算において薬品費は28%程度の増額要求を行っていますが、電気料金ほどの影響はないものと認識しています。

松川委員 　　意見です。

一般の方が、電気事業も行っている企業局の経営に電気料金の高騰が影響を及ぼすということ聞くと疑問を抱くと思います。企業局のパンフレット等を見ても電気事業を行っているとの記載はあるものの、発電事業とは明記していないので、説明があってもいいと思います。

明石委員長 　　そのほか質問等はございませんか。

なければ、「共通的事項」について説明をお願いします。

令和4年度「組織力向上と地域貢献」の経営評価（実績見込み）について

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和4年度経営評価（実績見込み）の総括

資料2 令和4年度経営評価（実績見込み）総括表

参考資料1 令和4年度取組内容一覧表

明石委員長 　　ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

泉委員 　　　　質問が3つあります。

　　　　　　　サテライトオフィスとは具体的にはどのようなものでしょうか。

　　　　　　　CO<sub>2</sub>削減量の内訳について、クリーンエネルギー導入支援事業と植樹支援事業の割合を教えてください。

　　　　　　　みずりん・みどりんを活用したノベルティについて、企業局の知名度向上の一つの手段として、ノベルティを配布して認知してもらうことは大切だと思いますが、持続可能な社会を展望する際に、ごみが増えることは好ましくないなので、使い捨てを促進することがないような工夫を凝らしたノベルティなどを検討されておりましたら教えてください。

佐々木次長 　　サテライトオフィスについてですが、企業局の本庁があります盛岡地区合同庁舎6階の一角に個室を用意いたしまして、事業所の職員が本庁に出張した際に執務ができる環境を整えたものです。

伊藤 　　　　　CO<sub>2</sub>削減量の内訳についてですが、クリーンエネルギー導入支援事業と植樹支援事業の割合は概ね半々程度です。

経営企画課長 　　みずりん・みどりんを活用したノベルティについてですが、ご指摘を踏まえ、現行配布しているノベルティが持続可能なものに該当するかを確認し、次回以降のグッズ制作に活かしてまいります。

濤川委員 　　　アマリングリーンでんきは100%水力発電の電気だと思いますが、電気料金の値上げはあったのでしょうか。

藤原技師長 　　　ホームページを確認したところ、久慈地域エネルギー株式会社の販売価格は東北電力株式会社と比較してわずかに安い程度です。

　　　　　　　久慈地域エネルギー株式会社も再生可能エネルギーだけでなく、バックアップとして火力発電の電気を調達していると推測されますので、同程度の価格水準なのだと思います。

松川委員 　　　　3点質問があります。

　　　　　　　電子決裁、文書管理システム、ペーパーレス会議の拡大について、かなりのスピードで取り組まれたものと思いますが、取組を開始してから導入までどの程度の期間がかかったのでしょうか。

　　　　　　　ホームページのアクセス数の解析はしているのでしょうか。やっている場合は観覧数が多いページはどこでしょうか。

　　　　　　　岩手県では、LINE、Facebook、Twitterなどの公式SNSを開設していますが、今後、企業局の公式SNSを開設する予定はありますか。

佐々木次長 電子決裁及び文書管理システムについてですが、企業局独自で取り組んだものではなく、岩手県庁全体の取組として進めたものでして、数年がかりで取り組み、令和4年4月から試行し、令和4年10月から本格運用を開始しました。

ペーパーレス会議の拡大につきましては、ソフト的な取組ではありますが、紙で配布しておりました資料を、極力、ノートPCを使って資料を閲覧するようにしたもので、令和4年4月以降、順次各種会議などで導入しております。

伊藤 経営企画課長 ホームページのアクセス数解析についてですが、詳細なデータは持ち合わせておりませんが、いわて復興パワーに関するページのアクセス数が比較的多いものと推測されます。

公式SNSについては、積極的に取り組んでこなかった分野ですので、今後、必要に応じて進めてまいります。

明石委員長 そのほか質問等はございませんか。

それでは、「令和4年度実績見込みの評価」について審議を終わります。委員の皆様から出されたご意見を参考に、今後の取組を進めて頂きたいと思っております。

### 【 3 議 事 】

#### (2) 報告事項

- ① 次期売電契約について
- ② 令和5年度経営評価委員会の審議事項について

明石委員長 次に報告事項に移ります。

まずは、次期売電契約について報告をお願いします。

下山主任主査が下記資料に基づき、説明を行った。

#### 資料3 次期売電契約について

明石委員長 ただ今の報告について、ご質問はございませんか。

阿部委員 県内枠の参加資格要件を緩和するとのですが、小売電気事業者である地域新電力が調達を希望する電力量との兼ね合いもあると思います。地域新電力が購入を希望する電力量よりも企業局の販売予定電力量が多く、地域新電力が電気を持て余すことになるのであれば、入札に参加しないこともあり得ると思います。地域新電力が希望する電力量の規模感などについて、ヒアリングは行っているのでしょうか。

下山主任主査 県内に地域新電力は8者ございまして、そのうち6者が早池峰発電所の売電入札に係る供給実績要件を満たしておりますが、企業局以外からもそれぞれ電源を確保しているものと思われ、企業局から調達した電気を全て県内に供給するのが難しい可能性もあると推測されます。一方で、電気事業を取り巻く環境は変化してきており、現在の地域新電力以外にも、新たに県内の小売電気事業に参入する事業者や今後事業規模の拡大を予定する地域新電力も想定され、こういった事業者にも間口を広げ、参入を促進する効果を期待しているものです。

明石委員長 そのほか質問はございませんか。  
なければ、「令和5年度経営評価委員会の審議事項」についてについて報告をお願いします。

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料4 令和5年度経営評価委員会の審議事項について

明石委員長 ただ今の報告について、ご質問はございませんか。

【 3 議 事 】

(3) その他

明石委員長 その他として、各委員から何かございませんか。  
全体を通してでも構いませんが、何かございませんか。

明石委員長 その他、事務局から何かあればお願いします。

事務局 本日の審議に関する議事録は、後日各委員に照会のうえ、ホームページにて公開いたしますのでご了承ください。

令和5年度の委員会の日程は、後日調整させていただきます。

明石委員長 これで、事務局が用意した議事は全てとなります。  
議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。  
それでは、残りの進行について、事務局にお返しします。

【 4 閉 会 】

佐々木次長 明石委員長、ありがとうございました。  
本日は長時間にわたるご審議をいただき、貴重なご意見、ご助言を賜り誠にありがとうございました。

いただいたご意見等につきましては、参考とさせていただき、業務や課題へ取り組み、中期経営計画を推進していきたいと思っております。

閉会に当たりまして、局長から一言御礼を申し上げます。

森局長 長時間にわたり、ご審議をいただきありがとうございました。

先ほどご説明申し上げましたとおり、企業局を取り巻く環境は大きく変わってきております。企業局としても経営環境の変化にできる限り対応してきているところではございますが、至らぬところもございます。こういった点をご指摘、ご指導をいただき、誠にありがとうございます。

令和5年度は次期中期経営計画を策定する重要な年度となります。企業局がどのような観点で取り組んでいくべきかご相談申し上げますので、どうぞよろしくお願いたします。

ここでお時間を頂戴いたしまして、令和5年度の当初予算について概略をご説明申し上げます。

電気事業についてですが、施設の高経年化が進展していることを踏まえ、胆沢第二発電所、入畑発電所の再開発事業を進め、発電電力量の低下を防止しつつ、発電電力量の増加を視野に入れて取り組んでまいります。また、水力発電所の新規開発についても検討を進めてまいります。来年度の収支は厳しいところですが、黒字は確保できる見込みです。

工業用水道事業についてですが、令和5年度から新北上浄水場が稼働



---

開始し減価償却が始まるため、単年度収支は赤字となる見込みですが、長期的には累積欠損金を解消するよう計画を立て取り組んでいるところで

す。  
今後とも、ご意見を賜りながら進めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

佐々木次長

それでは、これを持ちまして、令和4年度第3回岩手県企業局経営評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。